

令和5年度

ひょうご防災リーダー養成講座

自然災害は、自然現象により引き起こされるものです。地震、豪雨、台風などそれぞれのハザードが、被害を伴う災害となるのか、被害が発生しても最小限に抑えることができるのかは私たち次第です。現在、地球温暖化が進んでおり、今後数十年以上にわたり豪雨や台風などのハザードが増加すると予想されます。また、日本だけでなく、世界中に地震も頻発しています。さらに、近年、雨量増大などによる土砂災害も多発しています。南海トラフ地震や首都直下地震の発生確率が高まる中、令和2年から私達の生活に影響を与えた新型コロナウイルス感染症禍での避難所運営も懸念されるところです。

こうしたことを踏まえ、今後発生する様々な自然災害や原発事故等の大規模事故、また、市民レベルで考えなければならない感染症対策にも焦点を当て、人命の安全を第一に考え、行政はもとより県民一人ひとりの防災への取り組みをより一層促進させる必要があります。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「令和5年度ひょうご防災リーダー養成講座」を9月から12月まで、計7日間開講します。

日程：

- 1回 [9月9日~10日 (土日)]、
- 2回 [9月30日~10月1日 (土日)]、
- 3回 [11月11日~12日 (土日)]、
- 4回 [12月3日 (日)]

会場：兵庫県広域防災センター

募集人員：120名 (宿泊50名、日帰り70名)

募集期間：

令和5年7月24日 (月) 午前0時~定員に達し次第終了

料金：

受講料は無料、食事は有料、宿泊は有料 (希望者のみ)

受講対象： 兵庫県在住・在勤・在学 (高校生以上) で、現在又は今後、自主防災組織で活躍され、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方
※過去に本講座を修了し、既に「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は応募することができません

修了要件： ○ 合計21時限を受講できる方 (初日と最終日は必ず受講すること)
○ 11月12日までに履修確認レポートを提出できる方 (後日配布)
○ 11月12日までに普通救命講習の修了証を提出できる方
(有効期間は令和2年12月1日から令和5年12月1日まで、大人の心肺蘇生法及びAEDの使い方3時間コース)

修了すると： 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただけます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地 (又は勤務地) の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法： インターネットにて、広域防災センターの「ひょうご防災リーダー講座」のページからお申込みください。※事前に申込書を確認できます

お問い合わせ： 〒673-0516 三木市志染町御坂1-19 兵庫県広域防災センター 防災教育担当
電話：0794-87-2920 (総合) 0794-87-2928 (防災教育)

《 カリキュラム 》

時限	① 09:30～10:00	② 10:20～11:40	③ 12:30～13:50	④ 14:10～15:30	15:50～17:00
1回目 9/9 (土)	開講式・オリエンテーション	「国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える」 関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏	「事業継続計画について」 インフォコム株式会社 サービスビジネス事業本部 デジタル・サステナビリティ事業部 危機管理主任コンサルタント 高橋 克彦 氏	「地域防災と超広域大規模災害に備える」 神戸学院大学現代社会学部教授 松山 雅洋 氏	受講生の交流会
時限	① 09:30～10:50	② 11:10～12:30	③ 13:30～14:50	④ 15:10～16:30	
1回目 9/10 (日)	【ワークショップ】 「避難のあり方と避難行動ワークショップ（EVAG）（風水害版） いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練EVAG」 国土防災技術(株) 技術本部 土佐 信一 氏、 齋田 友理子 氏、横山 修 氏		【ワークショップ】 マイ避難カード 兵庫県 危機管理部 災害対策課 職員	防災体験学習 広域防災センター 職員	
2回目 9/30 (土)	「行政の危機管理（感染症対策含む）」 政策研究大学院大学教授・防災・危機管理コースディレクター 室田 哲男 氏	「地域の自主防災組織におけるタイムラインを活用した災害対応図上訓練」 東京大学生産技術研究所准教授 沼田 宗純 氏	「防災・減災の取組み」 前防災科学技術研究所理事 林 春男 氏	「地区防災計画と実践活動」 関西大学社会安全学部教授 近藤 誠司 氏	
2回目 10/1 (日)	「地域防災と災害ボランティアについて」 前ひょうごボランティアリーダープラザ所長 高橋 守雄 氏	「地域の防災リーダーに期待すること」 神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏	「地震・降雨に起因する地盤災害（地すべり、斜面崩壊、落石など）」 関西大学社会安全学部教授 小山 倫史 氏	「地図を活用した地域防災力向上対策について」 兵庫県立大学大学院教授 浦川 豪 氏	
3回目 11/11 (土)	「地域防災とその取組事例について」 兵庫県立大学環境人間学部教授 木村 玲欧 氏	【ワークショップ】 HUG図上訓練 広域防災センター 職員		「地域防災と広域大規模災害に備える」 神戸大学名誉教授 北後 明彦 氏	
3回目 11/12 (日)	「災害情報が地域と人命を救う一現場で考えた防災」 国士舘大学教授・元NHK解説委員 山崎 登 氏	「被災者の生活支援・災害時要援護者対策」 関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏	「風水害の発生メカニズムとその対応」 神戸地方気象台 防災気象官	「過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え～主として都市、産業、構造物の立場から～」 名古屋大学名誉教授 福和 伸夫 氏	
4回目 12/3 (日)	「大規模災害時の複合災害（感染症含む）における避難のあり方（在宅避難含む）について」 東京大学大学院教授 廣井 悠 氏	「南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震一発生メカニズムと対策について」 関西大学社会安全学部教授 奥村 与志弘 氏	「東日本大震災からの復旧・復興の課題を将来取り得る災害に活かす」 京都大学防災研究所教授 牧 紀男 氏	閉講式・防災士試験	



ホームページ



アクセス



研修宿泊施設

